

H31年度 講演/研修会等 一覧

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ	講義内容	受講対象	特記事項	その他
1	創造工学部	准教授	八重樫 理人	○	地域活性化のための情報技術活用について	香川大学八重樫研究室では、社会課題の解決をめざした情報システムを開発している。八重樫研究室が開発した広告表示プリンタシステム「カダポス/KadaPos」や観光日記生成印刷システム「KaDiary/カダイアリー」の開発を通して得た知見から、地域活性化のための情報技術活用について講演する。	一般成人	応相談	
2	創造工学部	教授	吉田 秀典	○	土壌汚染や汚染水の浄化について	汚染されてしまった土壌や水の浄化手法の説明を通して、環境保護の重要性と悪化した環境の修復の重要性を学んで頂くのと同時に、環境保全や環境修復には、科学的な手法が重要であることを理解して頂く。	中学生以上	応相談	
3	創造工学部	教授	野田 茂	○	必ず来る巨大地震にどう備えるか		一般成人	応相談	
4	創造工学部	教授	松島 学	○	地震と住宅の耐震	自分の家の耐震となると難しいように思えます。本講義は、素人でもわかる内容で自分の家の耐震性能を評価する方法について勉強をします。本内容を理解すれば、自宅の耐震性があるのかわかりやすいです。	一般	応相談	
5	創造工学部	教授	松島 学	○	建物の地震時被害と対策	建物の地震時の今までの被害を説明し、どのような建物が危険であるのかを説明する。さらに、地震時の建物の耐震設計方法、免震工法等にまで説明をする。	業界関係者(建設、不動産業等)	応相談	
6	創造工学部	准教授	岡崎 慎一郎	○	コンクリート工学	コンクリート工学に即した内容			
7	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	地域の災害特性を知ろう	地域を災害特性を知ることは、防災のための第一歩です。本セミナーでは、地形図やハザードマップを使って、お住まいの地域の災害特性を一緒に考えます。	一般成人	応相談	
8	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	讃岐ジオパーク構想―大地の成り立ちから地域の強みと弱み考える―	地域への愛着や誇りを持つには、大地の成り立ちから地域の歴史・文化や産業を再評価する必要があります。本セミナーでは魅力やお宝を大地の成り立ちから一緒に再発見する讃岐ジオパーク構想を紹介いたします。	一般成人	応相談	
9	医学部	教授	三木崇範	○	養育環境が子供の脳発達に及ぼす影響 (担当:三木崇範、鈴木 辰吾、太田 健一)	当研究室の研究データを踏まえ、母子分離に焦点をあてて幼少期の養育環境の重要性を説く。	高校生、大学生、一般	応相談	
10	医学部	教授	三木崇範	○	アルコールが脳に与える影響 (担当:三木崇範、鈴木 辰吾、太田 健一)	妊婦が摂取するアルコール(飲酒)により子供に精神神経発達遅滞をはじめ様々な影響をもたらす。これを胎児性アルコール症候群と称している。研究結果をもとに脳の発達に及ぼす影響について概説する。	高校生、大学生、一般	応相談	
11	医学部	准教授	人見浩史	○	iPS細胞研究の実際	iPS細胞は再生医療の実現に重要な役割を担う細胞です。実際にどのように発見され、どのような研究が行われているのか、香川大学の成果も含めて説明します。	応相談	応相談	
12	医学部	准教授	人見浩史	○	iPS細胞臨床応用の実際	iPS細胞は患者さんの細胞から樹立することが可能で、再生医療に重要な役割を担う細胞です。iPS細胞の臨床応用について、何ができて何が計画されているのか説明します。	応相談	応相談	
13	医学部	教授	和田健司	○	暮らしを支える化学	我々の社会と生活に無くてはならないエネルギーや各種製品、環境の保持には、化学が深くかかわっている。こうした化学について、実例を挙げて判りやすく解説する	高校生、一般	応相談	応相談

14	医学部	准教授	久富信之	○	PET撮像から診断画像まで	PET検査で撮像したデータを診断するための画像写真に加工するまでの理論について紹介	ソフト関連の企業	9月から12月	
15	医学部	准教授	横平 政直	○	なぜ、人はがんになるのか(がん細胞発生メカニズム)	正常細胞からがん細胞が発生するまで、遺伝子レベルでの変化に着目し解説します。また、そのような遺伝子変化を起こす要因やその予防についての話も盛り込みます。	小学生から一般の方まで、対象者に合わせて講演内容を調整します。	応相談	
16	医学部	教授	今井田克己	○	食の安全性評価	食品添加物等の安全性評価について概説する	一般		
17	医学部	教授	桑原知巳	○	第10回 3大学学術交流会	香川総合医療教育研究コンソーシアム構想にもとづき、香川大学医学部、徳島文理大学、香川県立保健医療大学の教員が最新の研究成果に関する講演を行う。	3大学の教員および学生、一般の参加者	12月上旬～中旬	
18	医学部	教授	平尾智広	○	災害と健康管理	南海トラフ巨大地震などの災害発生時に必要となる健康管理の知識を紹介します。個人や家族、社員を守るために、避難所へ避難してきた人を守るために必須の事項です。	どなたでも可能	日程調整が必要	
19	医学部	教授	平尾智広	○	人にやさしい働き方	労働災害、過重労働、過労死から、かけがえのない人を守り、ワークライフバランスを実現し、健康で豊かな社会を実現するために、ともに考えましょう。	どなたでも可能	日程調整が必要	
20	医学部	講師	祖父江 理	○	慢性腎臓病について (担当:祖父江 理、西島 陽子、守時 政弘)	国民病慢性腎臓病についての講演です。市民向けです。	一般	応相談	
21	医学部	講師	祖父江 理	○	臓器提供・臓器移植について	臓器提供に関する啓発です。	主に中高生	応相談	祖父江のみ
22	医学部	准教授	角 徳文	○	精神疾患、認知症など	その病気の特徴、症状、診断や治療など	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、老年)	スケジュールに合えば随時	
23	医学部	助教	今井秀記	○	サラリーマンのうつ病について	サラリーマンの体調不良は、一見うつ病には見えないことがあるが、軽症うつ病であることがある。その特徴について。	サラリーマン	特に制約はない。	30分程度
24	医学部	助教	檀上園子	○	認知症における早期介入の重要性	認知症は症状や問題が生じる前に適切に介入することで、症状出現を抑制し、よりよい生活環境を作ることができる。認知症の様々な予防について説明する。	認知症患者に関わる医療従事者	平日、9時から16時まで	パワーポイントを用いて講演するため、パソコン・プロジェクタを要する。
25	医学部	助教	加藤 育子	○	子育て支援	小児科医による子育て講座、育児相談	赤ちゃんのご家族 等	1時間程度	
26	医学部	准教授	下野隆一	○	子供の腹痛、外傷	小児の急性腹症、異物誤嚥、誤飲	一般	通年	スライド上映
27	医学部	助教(学内講師)	田中 彩	○	小児の急性腹症	小児に多い急性腹症について、気を付けたいこと	一般(小学校・幼稚園の保護者や先生)	特になし	
28	医学部	准教授	紺谷 桂一	○	乳がんなんかに罹らない、負けない!	乳がん患者数は年々増加しており日本女性11人に1人が乳がんにかかっている。しかし乳がんは比較のおとなしく治療も効きやすい。したがって早期発見・治療が最も重要である。乳がん予防と診断治療の現状について講演する	一般	現在「イキイキさぬき健康塾」開講中 年1回程度なら可能	日程は遅くとも3ヶ月前には知らせてほしい
29	医学部	講師	白神 千恵子	○	加齢黄斑変性	疾患説明と治療	中高齢者	8月	

30	医学部	教授	白神 豪太郎	○	麻酔科学, 周術期医学, 集中治療医学, 痛み医学, 緩和医学に関するテーマ (担当: 白神 豪太郎、中條 浩介、浅賀 健彦 山上 有紀、別宮 小由理、澤登 慶治、 武田 敏宏、築瀬 賢、植村 直哉)	手術の麻酔, 手術による痛みの緩和, 重症患者のケア, 慢性痛, 癌性痛など			
31	医学部	教授	辻 晃仁	○	がん治療の夜明けー新しいくすりの導入ー	くすりの治療やゲノム(遺伝子)診療の進歩は目覚しく、がん治療は大きく変貌しました。最新のがん治療につきお話しします。	一般	応相談	
32	医学部	教授	峠 哲男	○	パーキンソン病とその関連疾患の話題	パーキンソン病と関連疾患について、疾患の特徴や最新の治療法、予防法について講演する	一般の成人のかた	随時相談	パソコンが使えること
33	医学部	教授	峠 哲男	○	神経内科疾患について	神経内科とはどのような疾患を扱って、どのような検査や治療を行うかの概説	一般の成人のかた	随時相談	パソコンが使えること
34	医学部	教授	清水 裕子	○	カンボジア国における学校保健教育を通して国際支援のあり方を考える (担当: 清水 裕子、山本 麻理奈)	2017年3月から香川大学が香川県、JICA、カンボジア教育青年スポーツ省と連携してカンダール州における学校保健支援事業を実施している。35年ほど前に内戦を経験したカンボジアが未だ直面している教育課題への、国際的な相互支援のあり方をおし、平和を考える。	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、老年)、企業、教育関係者	年間	プロジェクション環境
35	医学部	教授	松井 妙子	○	高齢者の在宅ケアを考える	高齢者の在宅療養を支援する制度、在宅療養時に必要な医療的ケアの知識と技術など	一般(壮年、老年)	5月から9月	
36	医学部	助教	沖 亞沙美	○	認知症高齢者への対応について	認知症高齢者への対応を、看護の視点からわかりやすく解説 実技演習も交えて、日々の生活実践に活かす	高校生から一般の青年、壮年対象	平成30年度は5月～9月	
37	医学部	講師	村上 和司	○	虚血性心疾患とカテーテル治療について	虚血性心疾患とカテーテル治療について説明します(一般向け)	一般	応相談	
38	医学部	助教	辻 哲平	○	心肺蘇生とAED	心肺蘇生法とAEDの使用方法について説明します	1)小学生・中学生・高校生・大学生 2)教員・管理者 3)一般 4)企業	応相談	
39	医学部	教授	南野 哲男	○	循環器一般	循環器疾患について説明します	一般	応相談	
40	医学部	准教授	野間 貴久	○	心疾患の健康管理	心疾患の健康管理について1)一般 2)教員・管理者 向けに説明します	1)一般 2)教員・管理者	応相談	
41	医学部	教授	永竿 智久	○	形成外科で治せること	形成外科は体表の変形を、手術によって治す医療分野です。 ケガによるキズアトから、がんの手術や外傷により生じた欠損、または先天奇形まではば広い内容を治療することができます。具体的な治療例をご紹介します。	一般の方・学生の方	年中適宜	特にありません
42	医学部	教授	柴田 徹	○	①よく分かるがんの基礎知識 ②放射線治療について (担当: 柴田 徹、高橋 重雄)	① 1)肺がん、2)前立腺がん、3)乳がん、4)咽頭・喉頭がん、5)子宮がん、および6)がん全般について、ご要望に合わせて基礎知識から最先端治療まで分かりやすく解説します。② 切らずにがんを治せる放射線治療の最新情報について説明します。	一般成人、一般県民、各種団体、企業等	応相談	
43	医学部	教授	正木 勉	○	B型肝炎における最新治療	B型肝炎における最新治療とは	一般市民・開業医	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
44	医学部	教授	正木 勉	○	生活習慣病に関連した肝臓病	生活習慣病に関連した脂肪肝について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
45	医学部	准教授	出口 一志	○	パーキンソン病の進歩	最近のパーキンソン病の診断と治療について概説する	一般市民・開業医	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
46	医学部	准教授	出口 一志	○	高齢者のてんかん	高齢者で増加が指摘されているてんかんについて概説する	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり

47	医学部	講師	森 宏仁	○	最先端内視鏡治療について	昨今の内視鏡診断の最先端と内視鏡治療・手術について概説する	一般市民、医師	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
48	医学部	講師	小原 英幹	○	消化管粘膜下腫瘍の診断と治療について	正常粘膜で覆われた消化管の粘膜下に発生する様々な腫瘍の疫学、病態、診断、および治療について最新の知見も踏まえて講義する。	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
49	医学部	助教	米山 弘人	○	C型肝炎の診断と治療	C型肝炎の診断と治療-最新の情報提供-	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
50	医学部	助教	森下 朝洋	○	非アルコール性脂肪性肝疾患の診断と治療	非アルコール性脂肪性肝疾患の診断と治療について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
51	医学部	助教	鎌田 英紀	○	胆・膵内視鏡治療、膵がんの診断	胆・膵内視鏡治療、膵がんの診断について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
52	医学部	助教	加藤 清仁	○	胆道、膵臓の疾患と治療について	胆道、膵臓の代表的疾患における診断、治療の最新知見について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
53	医学部	助教	野村 貴子	○	肝がんの内科的治療	肝細胞癌における内科的な最新治療について	一般市民・開業医	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
54	医学部	助教	野村 貴子	○	女性に多い肝臓病	原発性胆汁性胆管炎や自己免疫性肝炎について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
55	医学部	助教	坂本 鉄平	○	肝硬変の治療	肝硬変の治療について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
56	医学部	准教授	杉元 幹史	○	* 頻尿、尿失禁(尿が近い、漏れる)、 * 泌尿器科がんについて、* 前立腺がんについて		一般市民		
57	医学部	准教授	宮武 伸行	○	楽しく学んで、楽しく実践、やさしい健康講座	1)メタボのはなし、2)糖尿病のはなし、3)熱中症のはなし、4)高齢者の健康のはなし、5)運動のはなし、6)食事のはなし、7)こころのはなし、8)尿検査、便検査のはなし、9)たばこのはなし、10)健康診断のはなし、11)高血圧と生活習慣のはなし、12)がん予防のはなし、13)食中毒のはなし、14)ジュースのはなし、15)うんこのはなし、16)すいみんのはなし	1)~13)は中学生以上、14)~16)は小学生対象	応相談	運動実技のある場合があります。社会人大学院生等の参加の場合もあり。小学生は20分程度から柔軟に対応します。
58	医学部	助教	鈴木 裕美	○	明日が変わる子育て講座	前向き子育てプログラム(Positive Parenting Program:トリプルP)をもとに、良好な親子関係の築き方、有効なしつけの仕方、やり抜く力などの非認知能力の伸ばし方を学習します。ビデオをみて自分の子育てを振り返り、ロールプレイや話し合いをしながら、子どもへの具体的な接し方を参加型学習で学びます。	保護者、祖父母、育児に関わる教育・行政の方	応相談	
59	医学部	教授	林 智一	○	カウンセリングの基礎—よりよい聴き手となるために—	マイクロカウンセリングをもとにしたカウンセリング技法と、カウンセリングの基礎理論について、わかりやすく講義する。研修時間によっては、技法論のみでも可。	一般、教育・福祉・医療など対人援助に関わる業務に携わっている人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	
60	医学部	教授	林 智一	○	老いのところを知る—高齢者の心理学—	高齢者の心理的特徴や心理的問題について、わかりやすく講義する。要望があれば、認知症に対する心理療法的アプローチについても紹介する。	一般、教育・福祉・医療など対人援助に関わる業務に携わっている人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	
61	医学部	教授	林 智一	○	職場におけるチームアプローチ—実習を中心に—	チームのメンバーが、民主的で対等な関係の中で協働するために必要な。実習の後、ミニレクチャーを行う。	一般、教育・福祉・医療など対人援助に関わる業務に携わっている人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	3時間の研修とする。それより短時間では実施不能。
62	医学部	教授	林 智一	○	高齢者に対するカウンセリングの実際—ライブレビューを中心に—	高齢者に対するカウンセリングにおいて特に有用であると思われる、ライブレビューという方法を紹介する。	心理臨床および福祉・医療の専門職、高齢者介護に携わる家族など、実践に関わる人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	

63	医学部	教授	林 智一	○	青年期のころを知る—青年心理学の基礎—	青年心理学の知見をわかりやすく講義する。また、青年のころの世界がよく反映されていると思われる歌詞を紹介して、解説する。	一般、教育関係者	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	会場に、CDを再生できる設備があること。
64	教育学部	教授	岡田 知也	○	エネルギー思考による楽曲分析に基づいた音楽表現	作曲家が自身の作品に託した表現(思いや意図)を、合唱曲や器楽曲等のアナリゼを通して探っていきます。その際、エネルギー思考により楽曲分析を行う保科洋の理論を手がかりとします。	音楽科担当教員, 合唱部・吹奏楽部等の顧問・指導者		
65	教育学部	准教授	吉川 暢子	○	子どもの豊かな表現を育む遊び	子どもは遊びの中からたくさんを学んでいます。しかし、子どもに「〇〇させる」という行為を大人や教師が押し付けていないでしょうか?そこで、子どもが自ら「やりたい」と思う遊びや子どもの表現について考えます。	保育者, 幼児の親, 親子		講義スタイルではなく実技や演習を伴うワークショップ形式
66	教育学部	教授	宮前 義和	○	教育臨床における認知行動療法の活用	教育臨床において、認知行動療法をいかに活用するかに関して講演・研修会等でお話をいたします。	小学校、中学校、高等学校教員	8月	
67	教育学部	准教授	宮本 賢作	○	身体活動・運動に関する理解について	身体活動環境という考え方をもとに、人々が身体活動や運動を行いやすい環境整備の重要性とともに、運動が推奨されている背景(一次予防、医療費等)について概説します。	一般	応相談	
68	医学部	教授	橋本 忠行	○	こころの理解と支援	臨床心理学ではこころの理解について「心理アセスメント」という言葉を使います。問題や症状の側面だけではなく、長所や資質のような肯定的側面にも注意を払うべきだという意味が込められています。その実際を体験し、支援につながる方法を考えます。	高校生、地域の市民の方々	スケジュールに合わせて調整します	依頼に合わせて調整します
69	教育学部	教授	高橋尚志	○	科学することの喜び	科学実験とお話により、科学することの意味を考えます。	小学校、中学校、高校生、一般	応相談	
70	教育学部	教授	高橋尚志	○	表面の科学	物質の表面に光をあてて電子を見る科学 表面物性を実験で見る方法を解説し、生活の中でどう結びつくのかお話しします	中学校、高校生、一般	応相談	
71	教育学部	教授	高木由美子	○	イオン液体の話	環境に優しい材料研究の大切さや、化学の面白さについてイオン液体を材料に概説する。	行事内容・対象に合わせる	公務に支障のない時期	
72	教育学部	教授	佐藤明宏	○	国語の授業のつくりかた	小、中、高等学校の国語科教員を対象に、国語の授業の教材研究の仕方、教材開発の仕方、学習指導案の書き方、具体的な発問、板書、ノート指導の方法等について講義したり、国語科授業づくりのアドバイスをします。	小、中、高等学校の国語科教員	いつでもよい	
73	教育学部	教授	山下直子	○	日本語教育入門	日本語を母語としない人が、どのように日本語を学ぶのかについて考えます。	関心のある方	応相談	
74	教育学部	准教授	山本 木ノ実	○	親と子のかかわり	気になる不登校やいじめ、発達障害等への対応について、安心できる場づくりや兆候が現れた時のかかわり方について考えます。	小・中学生の保護者	応相談	
75	教育学部	教授	時岡 晴美	○	少子高齢化における生活経営と地域居住	少子高齢化がますます進展する現代社会において、主体的に家庭や地域における生活を経営していく重要性をふまえて、現代における生活の変容過程について学習することによって生活の将来像を構想する力を養うものとしたい。	一般		
76	教育学部	教授	小方 朋子	○	特別支援教育について	教育関係者、保護者、高校生に対して発達障害や特別支援教育について解説	教育関係者、保護者、高校生		
77	教育学部	准教授	松井 剛太	○	障害のある子どもの保育について	障害のある子どもの保育に関して、就学前施設での具体的な支援等			
78	教育学部	准教授	松島 充	○	算数・数学の深い学びを実現する算数・数学授業のコツ	算数・数学授業において、深い学びを実現するにはどのようなポイントがあるのかを、参加者全員で実際に体験しながら学びます。	小学校教員, 中学校教員	応相談	

79	教育学部	准教授	上野 耕平	○	児童期におけるスポーツ指導	児童期におけるスポーツ指導の在り方について、スポーツ心理学の観点から説明します。	一般	随時	
80	教育学部	教授	植田 和也	○	心の教育、子どもへのかかわり、	子どもの心の教育について、道徳や家庭教育を通して具体的に考える。また、子どもへの関わりについて、学校教育と家庭教育の役割等について考える。	一般	応相談	
81	教育学部	教授	北林 雅洋	○	現存する砂糖車の車石から見えること	砂糖車はサトウキビから汁を絞る機械。絞るローラーの部分を木製から石製に変えたのが久米通賢(1780-1841)。そこで使われた石製のローラー(車石)がいろいろな所に残っている。香川県内だけでなく熊本や沖縄などにも。	一般		
82	教育学部	教授	妹尾理子	○	衣・食・住生活と地域の環境・文化	衣・食・住生活と地域の環境・文化	一般	応相談	
83	教育学部	教授	山神 眞一	○	心とからだの健康づくり	人と人とのコミュニケーション遊びを通して、笑顔で生き生きと過ごせる健康づくりを実技を交えて行います。	中高年層	応相談	
84	教育学部	教授	野崎 武司	○	スロージョギングで楽しく健康づくり	スロージョギングの実施方法とその効用を伝える。できれば実技を含めて。(野崎は、日本スロージョギング協会の公認アドバンスト・インストラクターである)	一般	日程調整ができ次第	運動できる服装(実技の場合)
85	教育学部	教授	柳澤 良明	○	学校教育の国際比較-日独比較を中心に-	日本の学校教育と諸外国(おもにドイツ)の学校教育をさまざまな観点から比較することで、日本の学校教育が持っている優れた点や今後改善すべき点について考える。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、教員、等	とくに制限なし。	柳澤からの情報提供の後に、参加者との質疑応答や意見交換ができればと思います。
86	教育学部	教授	恵羅修吉	○	学習困難を心理学的に分析する	読み書き・算数などの学習困難の背景にある認知機能特性について心理学的に分析します。	特別支援教育に関わる教員	応相談	
87	経済学部	教授	宮脇秀貴	○	ビジネスゲームで経営を体験	ビジネスゲームを用いて、企業を運営する模擬体験を行います。また、特に会計情報の活用の仕方を学ぶ体験となります。	小学校・中学校・高校生・一般	授業その他の関係で変わります。	打ち合わせによって決まります。
88	経済学部	准教授	山本 裕	○	日露戦争と香川・四国	近代日本における最初の「総力戦」とも見られる日露戦争について、当時の香川・四国の青壮年の「経験」について、政策史・地域誌にも留意しながら考えます。	高校生・一般(青年、壮年、高年)	夏休み・春休み以外	
89	経済学部	准教授	柴田 明	○	経済と企業の倫理学から企業不祥事を考える	なぜ企業不祥事は繰り返されるのか。解決策はないのか。経済と企業に関する倫理という観点から、その解決策を理論的・実践的に考えてみたい。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、ビジネスマン		
90	経済学部	教授	沖 公祐	○	資本主義の仕組み	資本主義は、歴史上のある時点にある場所で成立した特殊な経済システムである。この特殊歴史的な経済システムとしての資本主義がどのようにして成り立っているのか、をできるだけ分かりやすく説明する。	高校生、一般	いつでも可	
91	経済学部	准教授	大杉奉代	○	経営戦略	企業の基本的方向性を設定する経営戦略に焦点をあて、これまでの経営戦略論における論点を提示し、企業の経営戦略に関するさまざまな分析手法について講義を行う。	中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業	相談(公務をさまたげない限り可能)	
92	経済学部	准教授	細見正樹	○	ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ	仕事と生活の両立(ワーク・ライフ・バランス)や、多様な人材を活用するダイバーシティを、職場で円滑に運用する方法について講義する。	一般、企業・公的機関	応相談	
93	経済学部	准教授	松岡久美	○	組織のマネジメント	経営革新、リーダーの育成・継承など、企業のライフステージに応じた経営課題とその対処法に関して。	一般	応相談	
94	経済学部	准教授	西成典久	○	都市計画・まちづくり・景観デザイン・観光施策	地方中小都市における持続的なまちづくり施策について、コンパクトシティ、空家対策、景観整備、観光・地域産業振興、人づくりなど、自治体を中心として取り組むべき個別課題の総合的解決策について理解を深める。	一般、自治体関係者	応相談	

95	経済学部	教授	青木宏之	○	日本の雇用システム	日本企業の雇用システムの特徴、歴史など。	一般	指定なし	
96	経済学部	教授	長山貴之	○	地方財政について	都道府県や市町村の財政状況について説明します。将来人口の推計や公務員の給与水準など、地方財政に関連するテーマを含みます。	一般	8月～9月、2月～3月	
97	経済学部	教授	藤村和宏	○	サービス業におけるマーケティングの方向性	サービス業における成長を維持・促進するには品質や顧客満足の向上が必要不可欠であることから、品質向上のための組織内部に対するマーケティングと顧客満足向上のための市場に対するマーケティングについて解説する	サービス関係の企業	通年可能	
98	経済学部	教授	姚 峰	○	国際観光客地域選択の社会経済要因分析	応相談	一般成人 高校生		
99	経済学部	教授	姚 峰	○	ノーベル経済学賞と時系列関係の因果分析	応相談	一般成人 高校生		
100	経済学部	教授	藤井 宏史	○	日本経済と金融	私たちの暮らしは、マクロ経済や金融に大きく左右されます。講演では、高度成長期から現在に至るまでのマクロ経済と金融の動向を解説します。	一般		
101	経済学部	准教授	藤原 敦志	○	金融政策と日本経済	アベノミクスの「三本の矢」の1つとして採用された「大胆な金融緩和」について説明する。その政策の理論的な根拠や、実際の効果、副作用の有無などについて検討する。	高校生、一般	応相談	
102	経済学部	教授	井上 善弘	○	公認会計士監査	公認会計士監査の社会的な機能について			
103	経済学部	教授	大賀 睦夫	○	四国遍路の現代性	四国遍路研究には多くのアプローチがありますが、私はとくに宗教心理学的アプローチに関心があります。どのような動機で遍路に来て、遍路でどのような心身変容を遂げていくかという問題です。	一般	授業がなければいつでも対応できます。	
104	経済学部	教授	持田 めぐみ	○	私たちの暮らしと「経済学」	私たちの暮らしに関係するテーマについて、「経済学」の視点から解説します。	一般	応相談	マイクとパワーポイントを使用しますので、設営準備をお願いします。
105	経済学部	教授	朴 恩芝	○	財務会計	企業の経済活動をまとめ、内部および外部のステークホルダー情報提供するためのものである会計についての講義。	一般	学期中	
106	経済学部	教授	園部 裕子	○	フランスの女性移住者による市民団体活動	フランスに在住する西アフリカ出身女性が、受入社会と出身社会の間でコミュニケーション促進のために行う、市民団体活動について、現地調査から解説する。	一般	応相談	
107	地域マネジメント研究科	准教授	中村 正伸	○	元経営コンサルタントから見た、会計の使い道	会計は、財務会計と管理会計に大きく分けられます。その2つの側面をどう活用して組織は活動しているのか、主に民間企業を題材に、会計の原則と実務での実態を踏まえて、一緒に検討していきます。	一般	秋学期	
108	地域マネジメント研究科	准教授	中村 正伸	○	予算って何？	組織で働いた経験のある方で、「予算」という言葉を聞いたことが無い人はいないはずですが、予算にはどんなことが期待されているのか、組織はなぜ予算を使うのか、予算の現代的な意義は何なのかを検討していきます。	一般	秋学期	
109	地域マネジメント研究科	准教授	吉澤 康代	○	組織開発、人材育成、キャリア研修	組織開発: 組織風土調査の活かし方 人材育成: 求められるリーダー像 キャリア研修: キャリアワークショップ、キャリア面談	一般(社会人向け)		キャリア研修は費用が発生します。
110	地域マネジメント研究科	教授	関 庚炫	○	顧客起点のマーケティング戦略	マーケティングの基礎知識やフレームワークに関する解説を行うことで、顧客起点のマーケティング戦略の意味及び戦略立案過程に関する理解を深める。	マーケティングに興味のある一般の方及び企業		

111	地域マネジメント研究科	教授	岩本直	○	これからの高齢化社会を生き抜く方法を考える —高齢化社会の課題を知り、自分自身の対応方針を立てていこう—	①これからの高齢化社会に発生する課題をまとめます(介護、税収不足、労働不足等) ②①で示した課題に対する自分自身でできること、自分が社会にできることを提示します。 ③なお、本講義では健康、年金といったような個人に関するものは取り扱いません。本講義では高齢化社会到来に係る地域の課題をまず理解し、これらの地域課題に対する自分自身の対応方針等について考えていく内容となっています。	高齢者、一般社会人、高校生、大学生、主婦、企業経営者、行政及び商工会議所・商工会職員等	応相談	
112	地域マネジメント研究科	教授	反田和成	○	事業構想論	新規事業をスタートアップさせる際の留意点	一般(社会人)	12月	
113	地域マネジメント研究科	教授	板谷和彦	○	現代社会において科学技術とどう向き合うか	様々なテクノロジーが氾濫する今日、そもそも「科学技術」とは何か、どう向き合うかが重要となっています。この疑問に応えるべく、基本的な知識と考え方のヒントを差し上げます。	一般(青年を希望するが、他の年齢層も可)	前期	
114	法学部	教授	青木文	○	消費税の軽減税率制度の仕組みと問題点	2019年10月の消費税率引上げ(8%→10%)と併せて導入される予定の“軽減税率制度”の仕組みを解説し、その問題点を考えます。	一般	応相談	
115	法学部	教授	青木文	○	マイナンバー制度の仕組みと今後の展望	2016年1月から始まっているマイナンバー制度の現在の仕組みを解説し、その問題点や今後の展望を考えます。	一般	応相談	
116	法学部	教授	金宗郁	○	地方議会の現状と課題	地方議会の機能と現状を踏まえながらその課題について検討する。	一般	応相談	
117	法学部	教授	金宗郁	○	住民参加の現状と課題	自治体における住民参加の現状と課題について検討する。			
118	法学部	准教授	山本慎一	○	国際法・国際連合の役割と日本	国際社会の秩序を形成している国際法や国連の役割と課題、日本との関係性などについて、身近な事例を素材に解説することで、現代国際関係に対する理解を深める。	一般	応相談	具体的なテーマは相談により決定。
119	法学部	教授	鹿子嶋仁	○	個人情報と法	個人情報保護に関する法制度を素材として、現代社会における個人情報の意義とその保護の必要性や保護の仕組み等を、具体的事例を用いながら解説する。	一般(社会人、企業法務関係者、自治体職員等)	公務に支障がない範囲で随時	
120	法学部	教授	鹿子嶋仁	○	自治基本条例について	自治基本条例の制定を検討する自治体職員や市民向けに、複数の自治体で制定作業に携わった経験から、制定の意義や効果、策定過程等につき解説。	一般(主に自治体職員・議員向け)	公務に支障がない範囲で随時	
121	法学部	教授	鹿子嶋仁	○	地方公務員向け職員研修(行政法)	地方公務員(特に初任者)に向けた行政法に関する講義・研修会。法律を専攻していない方でも、行政職員として、ぜひ理解しておいてもらいたい基礎的な事項を解説。	地方公務員	公務に支障がない範囲で随時。1～3日間程度の研修を想定。	
122	法学部	教授	柴田潤子	○	独占禁止法入門	価格カルテル、入札談合、下請法、優越的地位の濫用、再販売価格維持行為という独占禁止法の中心的な問題について解説する。	出前講義(高校生)、研修、生涯学習講座が可能		
123	法学部	教授	石井一也	○	発展と平和	世界の貧困は、平和を脅かすので、経済発展が必要でしょうか。しかし、それでは、人類が限られた資源を奪い合って、かえって平和を脅かすでしょうか。発展と平和という人類が追求してやまない二つの目標は、果たして同時に達成できるのかを考えます。	小、中、高、一般	不定期(授業や会議のない時)	
124	法学部	教授	石井一也	○	ガンディーの非暴力思想	2018年は、ガンディーの死後70年にあたる年です。グローバル社会が、暴力の様相をますます強めてゆくなかで、ガンディーによる非暴力の思想と実践について考えます。	小、中、高、一般	不定期(授業や会議のない時)	

125	法学部	教授・学部長	三野 靖	○	地方自治全般	地方自治に関すること(個別のテーマは応相談)	市民、学生	応相談	地方自治に関することで、教員が対応可能なテーマ。個別に応相談。
126	法学部	准教授	吉井 匡	○	犯罪捜査と刑事裁判	犯罪捜査や刑事裁判、裁判員制度などの現状について、対象者の関心に応じて講義する。	中学生以上一般まで	応相談	個人が抱える刑事事件・トラブルに関する質問には応じられません。
127	法学部	教授	塚本俊之	○	「君が代」起立斉唱と思想良心の自由	卒業式・入学式における「君が代」の起立・斉唱が憲法19条によって保障された「思想・良心の自由」との関係で引き起こす問題を考える。	一般	応相談	
128	法学部	教授	藤田寿夫	○	消費者契約法について	契約・取引トラブルにおける消費者保護を考える。	一般	応相談	
129	法学部	教授	堤 英敬	○	若者と選挙・政治	2016年から「18歳選挙権」が導入されましたが、今日の若者は政治や選挙をどのように捉えているのでしょうか。また、若者の政治への関与を高めるには何が必要とされるのでしょうか。様々な投票行動のデータや世論調査の結果を分析しながら、こうした問題について考えていきます。	一般(生年、壮年、高年)		
130	法学部	准教授	佐川 友佳子	○	犯罪と国際化の問題	経済、社会活動の国際化に伴って生じる犯罪の問題について考える。	高校生・一般	応相談	
131	法学部	教授	平野 美紀	○	現代の犯罪と犯罪被害者支援制度	現代社会における犯罪や犯罪者の処遇、犯罪被害者支援制度を通して、社会の一面を考える。	関心のある方	応相談	
132	法学部	教授	平野 美紀	○	死をめぐる自己決定と法的諸問題	死をめぐる自己決定(尊厳死や安楽死)などを通して、医療における患者の意思のあり方、それらにかかわる法律問題を考える。	関心のある方	応相談	
133	法学部	教授	肥塚肇雄	○	あなどれない自転車事故ー備えるべきは保険ー	交通安全の重要性はもちろんのこと、自転車事故による被害者と加害者の法律関係と、保険加入の大切さについて考えます。	上記テーマに関心がある方、特に中学生、高校生	応相談	
134	法学部	教授	肥塚肇雄	○	自動運転事故は誰の責任？	ドライバーが存在しない自動運転による事故が発生した場合、誰が責任を負うのか、被害者はどのようにして救済されるのか等について考えます	自動運転と法に関心がある方	応相談	
135	法学部	教授	肥塚肇雄	○	ビッグデータ、個人情報保護、そして、変貌する保険	さまざまな情報が吸い上げられビッグデータ化されています。個人情報を守るのでしょうか？今後さらに、リストウオッチからも健康情報が収集されていくと、生命保険等はどのようなのでしょうか？こういう問題について考えます。	上記テーマに関心がある方	応相談	
136	法学部	教授	肥塚肇雄	○	知って得する生命保険の基礎知識	生命保険契約の基本的なルールは何か、どのような種類があるか等、知っているようで知らなかったりする生命保険の基礎知識を学びます。	上記テーマに関心がある方	応相談	
137	法学部	准教授	辻上佳輝	○	民法全体	遺言について 不動産について など 詳細は相談ください	誰でも	講義にかかれない範囲で	
138	農学部	教授	吉井 英文	○	機能性食品粉末の作製とその粉末特性	食品産業において、種々の食品粉末が噴霧乾燥法により作製されている。その中の高度不飽和脂肪酸や脂溶性機能性物質を粉末化する際の工学的課題とその粉末中機能性物質安定性や徐放性について、最近の研究について講義する。	食品企業関係者	12月、3月	
139	農学部	教授	合谷祥一	○	高齢者の食事	高齢者、特に嚥下が不自由になった方の食事について、わかりやすく解説します。	一般		
140	農学部	教授	合谷祥一	○	食品のおいしさ	食品のおいしさ、化学的味(いわゆる味)、物理的味(食感など)について、わかりやすく解説します。	高校生、一般、食品関係の企業		

141	農学部	教授	佐藤正資	○	農薬のはなしー食の安全・安心の理解のために	農薬は私達の豊かな生活を担う重要な物質です。本セミナーでは「食の安全・安心」を理解するために役立つ農薬の話題についてお話しします。	中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)		
142	農学部	教授	山田佳裕	○	香川の水環境、農業と水、水辺の生物等	水資源に乏しい香川県の水環境は、他の地域と違った特徴を持っています。水域の生態系や水質を解説するとともに、農業と水の関係について考えます。	特に制限無	随時	プロジェクター
143	農学部	准教授	松本由樹	○	おいしいお肉の向こうには…	鶏肉や鶏卵生産の裏側には、農家・研究者・行政獣医師の皆さんの工夫や苦労のおかげである。「鶏の種類」、「鶏を育てる環境」、「鶏の健康を守るために」を知り、現状をお伝えするとともに最新研究を紹介する。	小学校、中学校	いつでも可	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。
144	農学部	准教授	松本由樹	○	おいしいお肉の向こうには…	素材の組み合わせにより吸血ダニを捕殺する技術を開発し、薬剤に頼らず被害低減できた。生物多様性に配慮しつつ、国際的な捕獲調査が可能となった。全世界で活躍する畜産・獣医教育での活用事例を紹介する。	高校生	いつでも可	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。
145	農学部	教授	深井誠一	○	ヒトはなぜ花を愛でるのか	私たちの暮らしの中で花や緑が必要とされるのはなぜなのか、ヒトという生物からその意味を考えます。	一般、園芸業界	特に指定はありません	急な申し出には対応できないことがあります。
146	農学部	教授	深田和宏	○	身の回りの化学物質	日常生活で使われている化学物質を取り上げ、我々の生活が化学製品の恩恵をどれだけ受けているかを考える。具体的例として洗剤と甘味料に焦点を当て、その製造法や性質、環境や健康に対する影響などを説明する。	一般および高校生	応相談	
147	農学部	助教	杉山康憲	○	がんの発症メカニズムと抗体医薬品	がんが発症する基本的なメカニズムと現在利用されている標的分子薬である抗体医薬品について説明する。	一般成人、高校生	応相談	
148	農学部	准教授	杉田左江子	○	お米の起原、品種改良について	私たちの主食であるお米がどのようにして作物として利用されるようになったのか、また、お米の品種改良の方法について紹介します。	高校生、一般	応相談	
149	農学部	教授	川村 理	○	食の安全(食品添加物、残留農薬、放射性物質、カビ毒、食中毒、身の回りの毒など)	食の安全を脅かす事柄が多く報道されていますが、必ずしも科学的に正しい情報とは限りません。科学的に正しい食の安全についてわかりやすく講義します。	高校生以上、一般の方	随時可能。日時や講演内容・時間については事前にご相談下さい。	液晶プロジェクターとスクリーンが必要
150	農学部	教授	川浪康弘	○	植物が持っている香りの話	植物はそれぞれ特有の芳香を持っているが、昆虫を引き寄せ受粉を託したり、逆に害虫を寄せ付けないよう植物を守るために香りを産出すると考えられている。これらの香り成分について、分かりやすく説明する	中学生、高校生、一般	応相談	
151	農学部	教授	藤田政之	○	植物の環境ストレスと応答	植物を取り巻く様々な環境ストレスを紹介し、それらに対する植物の応答、適応、耐性機構について概説する。	一般		
152	農学部	准教授	小林剛	○	香川県の森林の特徴と植物の生態	香川県の森林の現状と諸問題、里山に生育する植物の生活、竹林の拡大の影響とその対策、ほか	小学生～一般;企業(対象者により内容を調整します)	主として大学の通常カリキュラムの講義実施期間・時間外	
153	農学部	准教授	市村和也	○	植物バイオテクノロジーの話	植物バイオテクノロジーの例として、遺伝子組換え技術や遺伝子組換え作物がどういうものか易しく解説します。また、植物バイオテクノロジーを使った研究や応用例についても簡単に紹介します。	一般(青年、壮年、高年)	前期、夏休み	

154	農学部	准教授	市村和也	○	植物の機能とバイオテクノロジー	本講義では植物の代表的な生理機能である光合成と、生長やストレス応答と密接に関わる植物ホルモンについて概説します。次に、遺伝子組換え技術が中核となる植物バイオテクノロジーについても紹介します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	前期、夏休み	上記の植物バイオテクノロジーの話に植物に関する授業要素を加えた内容です。
155	農学部	教授	片山健至	○	森林とそのバイオマスの恵みを知ろう	森林は古来、人間の生活と文化の必需品を供給し、地域と地球の環境を保全しています。近年はバイオマスとして注目されています。森林と森林バイオマスの恵みについて話します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	随時可能ですが、日時などについては応相談	
156	農学部	教授	片山健至	○	天然の高分子化合物と人間生活	生物及びバイオマスは、主に高分子化合物(ポリマー)からできています。また、私達は多くの物質に囲まれて、豊かな生活と文化を営んでいます。例えば、木材、紙、食品(デンプン、タンパク質)、天然ゴム、ウルシなどであり、これらの生物・バイオマス由来の天然高分子化合物について話します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	随時可能ですが、日時などについては応相談	
157	農学部	教授	片山健至	○	讃岐三白から始めているいろいろな物質を学ぼう	讃岐三白(塩・綿・砂糖)の物質としての特徴を学び、化学に詳しくなろう。塩は無機化合物、綿と砂糖は有機化合物、そして綿は高分子化合物(繊維状)で、砂糖は低分子化合物(二糖)である。さて、米、希少糖、さらにウドン、手袋、漆器はどうだろうか。	高校生	随時可能ですが、日時などについては応相談	
158	農学部	教授	望岡亮介	○	暑さに負けないブドウの品種改良	地球温暖化により、ブドウの色づきに問題が出てきていますが、栽培ブドウの近縁種の紹介とそれを用いて品種改良した事例紹介をします。	小学校(高学年)、中学校(全学年)、高校(全学年)、一般成人	個別に調整	
159	農学部	准教授	柳田 亮	○	天然発がんプロモーターの化学	天然に存在する植物、微生物、動物由来の発がんプロモーターの構造、活性、作用機構について。			
160	農学部	教授 理事・副学長	片岡 郁雄	○	キウイフルーツの近縁植物と品種改良への活用	キウイフルーツの仲間であるマタタビ属植物の紹介とそれらを活用した品種改良について紹介します。	一般成人	個別に調整します	
161	農学部	教授	小川 雅廣	○	食品としてのオリーブの魅力	オリーブの歴史、オリーブ果実(オリーブオイル、オリーブ牛などを含む)の魅力、オリーブ葉(オリーブ茶、オリーブハマチなどを含む)の魅力について紹介する	一般		
162	農学部	教授	小川 雅廣	○	オリーブ学入門	オリーブの歴史的背景、栽培法、活用法、機能性、産業利用など* (担当者:農学部教員 数名)	一般	応相談	
163	農学部	教授	東江 栄	○	食用野生植物及び新規野菜の紹介と利用	食用野生植物を新しい野菜として活用する。あまり出回っていない新しい野菜を紹介し、換金性の高い新規高機能性野菜を開発する可能性について考える。	農家、生鮮食品業者、卸業者等、野菜の栽培に関心のある方	随時	
164	農学部	准教授	亀山 宏	○	政策評価入門	インパクト評価法の最近の発展の成果を踏まえて、様々な施策の効果を評価する。	市町の職員	定時授業の期間以外	パソコンの活用やワークショップ形式で
165	農学部	教授	田村 啓敏	○	食品の安全教育と食のグローバル化	食品産業が東南アジアなどを中心にグローバル化している。食品の60%を輸入している日本の食品安全を確保する取り組みは重要である。その現状と取り組みを紹介する。	9月、12月、3月頃	食品関係の企業など	午後6時以降に限る、交通費などの支給
166	農学部	教授	柳 智博	○	イチゴに関するもの	生産、科学、歴史	一般	随時	
167	農学部／瀬戸内圏研究センター	教授	一見和彦	○	瀬戸内海の生物と環境問題	瀬戸内海に生息する微細なプランクトンやアサリなどの生態について紹介すると共に、赤潮や漁獲量の減少など、瀬戸内海が抱える環境問題について解説する	高校生・一般	日程調整による	Power Pointの使用

168	農学部／瀬戸内圏研究センター	教授	多田 邦尚	○	海洋科学、瀬戸内海の環境	①「海の科学」: 海水の性質や、そこに生息する生物、さらに海洋の食物連鎖や物質循環について ②「瀬戸内海の環境」: 身近な瀬戸内海について、過去の高度経済成長期から現在までのその環境の変化について	小学生(5年以上)、中学生、高校生、一般市民	個別に調整	
169	総合情報センター	准教授	後藤田 中	○	「ビデオ映像からのスポーツ分析 - ヒットの動きを解析する -」	スマホや家庭用ビデオカメラで撮影されたスポーツ現場でのヒットの動きが入った映像を対象に、家庭用パソコンとインターネットで入手可能なフリーソフトを用いて、簡単に分析できる方法について実例を用いながら学びます。	・ビデオ映像からPCを使って映像分析に取り組みたい学生(中学生以上)・または体育系の部活動などに取り組みたい地域スポーツの指導者・体育系部活動顧問など ・教養として、世の中のスポーツ分析をどうやっているのか興味がある者	後期(可能ならH31年1月頃)	※会場の環境(電源状況・部屋の広さ)が不明なのですが、もし、参加者がPCを持ち込んだり、実際に体を動かすことが可能であれば、その場で撮影して、分析するような演習を入れたいと思います。→(今後ご相談)
170	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	企画調整室 室長	藤澤 一仁	○	防災、減災、危機管理に関する内容について、ご要望に応じてご相談お受けします。 (担当: 白木 渡、金田義行、長谷川修一、藤澤一仁、野々村敦子、磯打千雅子)	南海トラフ巨大地震の地震・津波災害に対して、災害現象のメカニズムや備える対策についてわかりやすく講演・研修を行います。 キーワード: 被害予測、地震・津波シミュレーション、防災計画、土砂災害、ため池災害、避難所運営、ボランティア、防災まちあるき、防災マップづくり、避難訓練	一般、企業、行政等	常時	プロジェクター、スクリーン など
171	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授 副機構長 センター長	白木 渡	○	想定外の災害や危機事態にいかに対応するか	想定を超える災害や危機的な状況におかれた場合の防災教育、減災・縮災(災害レジリエンス)の考え方について分かり易くお話しします。また危機管理計画(BCP/DCP)、国土強靱化(ナショナルレジリエンス)についてお話しします。	一般、教育関係者、防災・危機管理に携わっておられる行政や企業の方	常時	プロジェクター、スクリーン など
172	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、地域強靱化研究センター長、学長特別	金田 義行	○	減災シンクタンク	災害前、災害時、災害後のそれぞれのステージで活躍できる人材育成とシンクタンク機能についての相談をお受けいたします。	中高生含む市民の皆さん	常時	特になし
173	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	地域強靱化研究センター副センター長	藤澤 一仁	○	行政と防災・危機管理	地震や自然災害対策について、関係法や関係規程などとの関連について、行政機関として承知すべきことについてわかりやすく講演・研修を行います。 キーワード: 災害対策基本法、災害救助法、水防法、防災計画、土砂災害、避難所運営、災害対策本部運営訓練等	地方公共団体	常時	プロジェクター、スクリーン など
174	国際希少糖研究教育機構	准教授	森本 兼司	○	希少糖の作り方～砂糖との違い～	希少糖の1種D-プシコースは血糖値の上昇を抑える働きや肥満の予防作用がある。またそれはレアシュガースウィートにも含まれている。これらを安全に生産する方法や砂糖の違いについて解説する。	高校生、専門学校生、大学生、一般人、企業など広い対象に対応可能	随時可能ですが、日時などについては応相談 液晶プロジェクターとスクリーンがあること	
175	地域連携・生涯学習センター	センター長・教授	清國 祐二	○	イギリスの社会と学校	かつて栄華を誇ったイギリスは、世界で最も早く発展し、大英帝国を築きました。しかし、20世紀に入り次々に大国に追い抜かれ、長期にわたる低成長の時代を迎えることとなります。学校教育も成功しているとはいえ、かなり大胆な教育改革を進めています。その背景には、失業や移民等による格差社会があります。同じ島国である日本は、イギリスを追いかけようとしている感じがします。イギリスを学ぶことで、未来の日本を考えます。	教育問題や学校制度に関心のある方。イギリスの社会に関心のある方。	応相談	